

平成23年度産学連携推進プロジェクト研究成果等報告書 (アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト用)

■アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト:松田裕雄プロジェクト

ア. プロジェクトの課題

スポーツ・ビジネスを活性化する起業家的人材育成プログラムの開発と実践

イ. プロジェクトの代表者

松田裕雄 (講師・人間総合科学研究科/体育系)

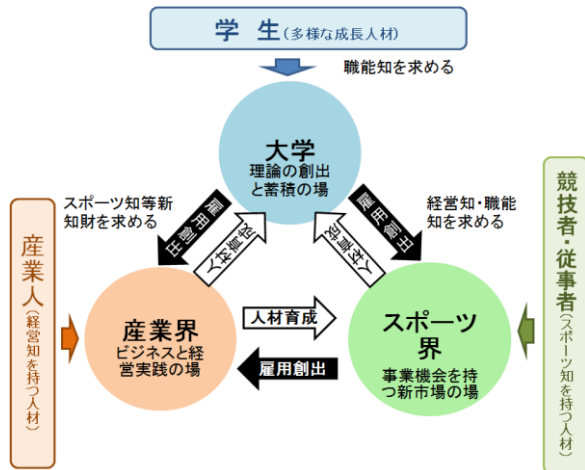
TEL 029-853-2754

E-mail: yas-m@taiiku.tsukuba.ac.jp

ウ. プロジェクトの概要

a. プロジェクトの目的

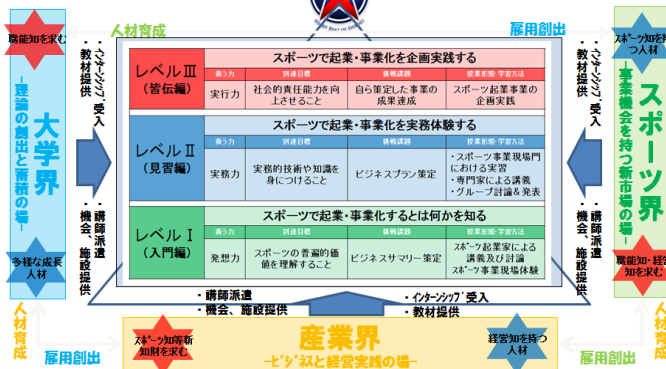
大学・産業界・スポーツ界の各専門家によって構成される運営委員会と講師陣により、起業家的精神と実務能力を有する人材育成プログラムの開発と実践を行う



プロジェクト実施背景/カリキュラム全体概要

GOOD SPORTS GOOD FUTURE !

「IMAGINE THE FUTURE」の実現化に向け、スポーツの普遍的価値で新しい価値や新しい未来を創造できる人材の育成を目指します。



プログラム内授業構成

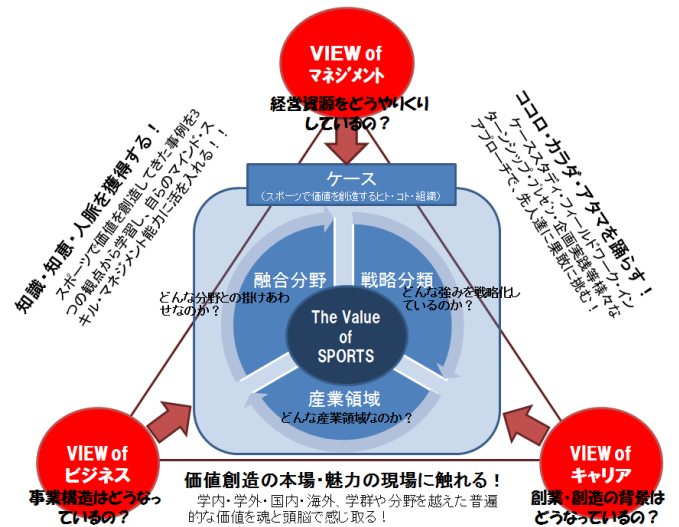
レベルⅢ (皆伝編)	スポーツで起業・事業化を企画実践する	
	平成25年度開講予定	
レベルⅡ (見習編)	国内実習編 特設自由科目 王国の息吹・国内編 —価値を創るスポーツ・ビジネス実習—	海外実習編 特設自由科目 王国の息吹・海外編 —価値を創るスポーツ・ビジネス実習—
	スポーツで起業・事業化するとは何かを知る	
レベルⅠ (入門編)	基礎座学編 大学院共通科目・総合科目 勇者の鼓動 —価値を創るスポーツ実習—	体験実習編 共通科目体育・自由科目 地域を創るスポーツイベントプロデュース

b. 平成23年度の成果

(1) 本格的なケーススタディ導入による学生満足度のUP=全項目で100%の満足度達成

1学期; 98.6% 2学期; 100%

(2) ケーススタディ開発の段階で、ひとつのケースに対し以下のようなアプローチで分析していくことで教育効果が高まることが判明した。



(3) 学内公開授業を実施し、学生にとっては聴講から教職員にとってはスタッフ研修ということで職員課も巻き込み、総勢300余名を集客した大規模講座を展開できた。

実施日: 平成23年11月14日(月) 18時15分
~21時00分

講師: 荒川静香 (プロフィギュアスケーター)

題目: 自らの意識を高めるとは



(4) 平成 25 年度実施予定であった学外公開講座版「勇者の鼓動」が、教育推進部主催事業の「重点公開講座」として採択された為、前倒しで開催し、一般社会人からも好評価を得た。

公開講座名

「筑波大学重点公開講座 醒めて起て！勇者の鼓動—スポーツの価値とビジネス」

対象；一般ビジネスマン、OL

開催場所；筑波大学東京キャンパス文京校舎

開催期間；1月～3月

受講者数 90 名 満足度 94%



(5) 平成 24 年度実施において「勇者の鼓動」を 2 単位、2 コマ続きとすることに決定したこと。

(6) 平成 24 年度実施予定である「王国の息吹・国内編／海外編」共に学内特設自由科目（特別配

慮科目）として採択され教育推進課より予算を計上していただいた。

(7) 一連のプログラム（勇者の鼓動／王国の息吹）をスポーツ・アントレプレナーシリーズとしてひとつの冊子とし、平成 24 年度専門パンフレットとして作成した。

c. 今後の予定

(1) レベルⅠの改良

i) 勇者の鼓動（総合科目・大学院科目）：昨年までの反省を活かし、ケーススタディにおける課題内容の工夫等教授法における最終的な形を構築する。

ii) 感動価値創造（自由科目）：入門編体験版として 90 時間の実習時間内容に「事前学習」を導入し、当該市場の動きを詳細かつ明確に伝えていくセッションを構築する。

(2) レベルⅡの実践

国内編及び海外編双方ともに科目として立ち上がる。国内編についてはインターンシップ先との連携プログラムの開発、海外編では人材の招聘及び受け入れの関係を海外機関と締結していく。

(3) レベルⅢの開発

民間組織と連携し、事業の開発実践体験型プログラムをパイロット的に実施する。

(4) レベルⅠの公開講座版を本格実施

当初予定を早め、すでに 23 年度に実施した公開講座における市場調査結果を集約し、マーケットを明確にし、それをもとに実施体制を整備する。学内講座として (1) ～ (3) は一貫通貫のパッケージプログラムとして「スポーツビジネス実践塾」のような形で体系的に有機的に整理していくことを平成 24 年度の上位目標とする。

学外講座として (4) は、一般社会人に対し市場を開拓し、およそ 5000 億円と言われるセミナービジネス市場に新規参入し、大学発の実務的実践的講座としてのポジショニングを図る。

エ. 新聞記事・雑誌掲載・報道等

- ・勇者の鼓動「公開授業」に関する記事

NHK 教育テレビ

茨城新聞 2011.11.15

毎日新聞 2011.11.16

東京新聞 2011.11.16

筑波大学新聞 2011.12.5

- ・プログラムに関する講演

公益財団法人日本生産性本部主催キャリア・クロ

ス会 3月例会

題目

「キャリア形成とスポーツ&ビジネス-筑波大学産

学連携スポーツ・アントレプレナーシップ教育の取り組み」

オ. 特記事項

特に無し

カ. 代表者以外のプロジェクトの主な実施者（非常勤講師など）

所属	職名	氏名	役割	期間
(株)スポーツビズ	代表取締役社長	山本雅一	非常勤講師	H23.5
(株)スポーツビズ	海洋冒険家	白石康次郎	〃	H23.5
(株)電通	スポーツ局員	上西葉子	〃	H23.6
(有)サウスウインズ	代表取締役社長	石坂有紀子	〃	H23.6
(株)スポーツビズ	スポーツキャスター	荻原次晴	〃	H23.5
(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ	代表取締役社長	海野一幸	〃	H23.6
	プロキーマー	畑中みゆき	〃	H23.10
クリームインターナショナル(株)	俳優	藤本隆宏	〃	H23.6
(株)ドーム	専務取締役	今手義明	〃	H23.10
MLBサンフランシスコジャイアンツ 日本支部コーディネーター		嘉数駿	〃	H23.11
ゼビオ(株)	代表取締役社長	諸橋友良	〃	H23.10
エイベックス・グループ・ ホールディングス(株)	執行役員	三浦卓広	〃	H23.9
(有)ステージ41	代表取締役社長	鈴木美伸	〃	H.23.9
(有)D A S	代表取締役社長	林田祐樹	〃	H.23.5

株式会社ツエティ	代表取締役社長	村里敏彰	〃	H23.10
株式会社ユニバーサルスポーツマーケティング	プロフィギュアスケーター	荒川静香	〃	H.23.11
筑波大学	准教授	風間八宏	学内研究員	H23.4.1~H24.3.31
株式会社スポーツビズ	取締役	田中和弘	客員研究員	〃
株式会社スポーツビズ	S P N事業室	宮本佳代子	〃	〃
インターファースト株式会社	代表取締役社長	高柳公一	〃	〃
株式会社日本スポーツトレーニング研究所	所長	小俣よしのぶ	〃	〃
多摩大学	准教授	相原正道	〃	〃